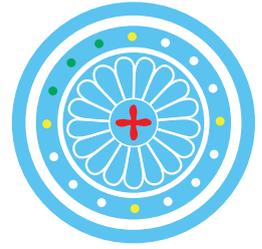
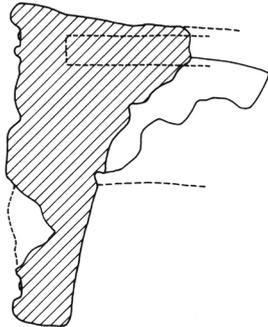




長岡宮式軒丸瓦



ながおかきゅうしきのきまるがわら
 長岡宮式軒丸瓦は、長岡京造営に伴って作られました。主に長岡宮内の施設に使用されましたが、寺院の修理などにも使用されていたようです。これらの瓦は長岡京市の谷田瓦窯たにだがようや高槻市の萩之庄瓦窯はぎのしょうがようで焼かれていたことがわかっています。長岡京跡では、長岡宮式のほかに難波宮式なにわのみやしきや平城宮式へいじょうきゅうしきの軒瓦も多くみつかっており、旧京の瓦を再利用していたと考えられています。重い瓦をわざわざ運んでまで使っていたことから、当時の瓦は貴重品であったことがわかります。今回の缶バッジは谷田瓦窯で作られた軒丸瓦をモチーフにしています。



谷田瓦窯群遠景
 (長岡京跡右京第 144 次調査)
 (1983 (昭和 58) 年 奥海印寺谷田)



軒丸瓦出土状況
 (長岡京跡右京第 144 次調査)



長岡京市埋蔵文化財センター設立 40 周年記念事業・2022 缶バッジプレゼント企画

